

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

595-604

事務事業名	河川維持補修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	3	2	10	1	8,050
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		河川法				
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・準用河川及び普通河川の維持補修必要箇所。	・河川維持補修必要箇所：箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			50			
	・河川施設の維持補修を行い、漏水や護岸の決壊等を未然に防止し、市民の安全を確保する。	・河川維持補修実施箇所：箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
		18目標	30	最終目標		
		18実績	24	19目標	30	↑
		23目標	30	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・河川施設のパトロールや関係地区からの補修要望、緊急通報等により、市内準用河川、普通河川の河川施設の維持補修工事を実施する。	・河川維持補修工事	河川維持補修工事数：箇所	24箇所
	18年度の実績			
	19年度計画	・河川維持補修工事	河川維持補修工事数：箇所	30箇所

<金額の単位：千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金	0	0
	特定財源	0	0
	起債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	8,073	8,075
	事業費計(A)	8,073	8,075
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間	300	300
	人件費計(B)	3,899	3,899
	トータルコストA+B	11,972	11,974

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・河川補修により、護岸の決壊や漏水を未然に防ぎ周辺の宅地や農地等への浸水等の被害を防ぐ。	宅地及び農地等への浸水被害：件	現状値	7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ ・台風や豪雨時に河川護岸の決壊や護岸の老朽化による漏水等による周辺地域への浸水被害を未然に防止するため。	事業を取り巻く状況の変化 ・近年、宅地化が進行し予想を上回る水量が河川へ流れ込む事で護岸の決壊や施設の老朽化による漏水等が増加する事が考えられる。	事業に対する市民や議会の意見 ・台風や豪雨の時でも安心して住むことのできるインフラ整備の要望が多くなっている。
---	--	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) ・本事業により、河川周辺に居住する市民の安全を確保することができる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) ・定期的なパトロールによる維持補修箇所の早期発見。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) ・準用河川及び普通河川が対象である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) ・河川周辺に居住する市民の安全を確保できない。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) ・河川の維持補修により市民の安全を確保するため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) ・準用河川及び普通河川の管理者は飯田市である。		効率性 評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) ・河川構造物築造にあたり、新たな工法等の採用によるコストの削減。
		公平性 評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) ・全市民が対象である。	

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 2018 <input type="checkbox"/> 2019 <input type="checkbox"/> 2020 <input type="checkbox"/> 2021 <input type="checkbox"/> 2022 <input type="checkbox"/> 2023 <input type="checkbox"/> 2024 <input type="checkbox"/> 2025 <input type="checkbox"/> 2026 <input type="checkbox"/> 2027 <input type="checkbox"/> 2028 <input type="checkbox"/> 2029 <input type="checkbox"/> 2030	<b>具体化</b> <input type="checkbox"/> 2018 <input type="checkbox"/> 2019 <input type="checkbox"/> 2020 <input type="checkbox"/> 2021 <input type="checkbox"/> 2022 <input type="checkbox"/> 2023 <input type="checkbox"/> 2024 <input type="checkbox"/> 2025 <input type="checkbox"/> 2026 <input type="checkbox"/> 2027 <input type="checkbox"/> 2028 <input type="checkbox"/> 2029 <input type="checkbox"/> 2030	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> ・飯田市が管理する河川数に対し、人員が不足しており全河川の点検が難しい状況である。このような状況であるが、極力点検を実施し危険箇所を早期に発見し補修を実施する。  ・職員のみでは危険箇所の早期発見が難しい中で、地域住民によるパトロールをお願いし危険箇所の報告をしてもらう。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法			

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	